



小中高連携英語教育推進校授業研究会（高千帆小学校）

相手を意識しながら自分の考えや気持ちを伝え合うことができる児童・生徒の育成をめざして、高千帆小学校で研究会が開催されました。5年生の教室では、『相手の好みに合うおすすめのランチセットを完成させよう』をめあてにして、児童が店員と客に分かれてHello、Welcome、What would you like?、I'd like a hamburger、It's 350 yen、Thank youなどと会話をしながら商品を売ったり買ったりしました。どの児童も、積極的に身振り手振りを交えて話し、思いを伝え合うことができ、英会話を楽しんでいました。



竜王校区ふれあい体育祭（竜王中学校）

4名の生徒が主催する体育祭は、市内ではもちろん初のイベントです。竜王中学校の3年生は、総合的な学習の時間に探究学習の一つとして、地域のために自分たちにできることを考えて企画・実行する取組を進めています。地域の人々が健康になる、交流の場にすることを目的に、幼児から高齢者までが参加し、中学生のボランティアも一緒に手伝ってボッチャやグランドゴルフなどを楽しみました。これまでの学びの集大成として、自ら行(考)動したり他者と協調したりする企画力や実行力等を身に付け頼もしさが感じられました。



小小連携（有帆小学校、高泊小学校）

有帆小学校と高泊小学校の6年生が修学旅行で訪れた被爆地、広島と長崎を見学して学んだことを発表しました。原爆資料館や記念碑、被害などの他、他市の空襲のことも調べた結果を分かりやすく伝えました。そして、二度と戦争を起こしてはいけないこと、戦争の残酷さを伝えていくこと、平和を守ることを誓いました。その後の交流会では、ゲームを通して話しかけたり握手をしたりしてすぐに親しくなりました。両校の連携した取組は初めてでしたが、和やかな雰囲気子どもたちの結びつきが深まる会になりました。

